

## 十六番、平沢

「参り来て 浮世を ここに  
忘れ置く 心及ばぬ」

「広沢の月」

曹洞宗 広沢山 国性寺

会津若松町北町大字中沢字平沢四一九

本尊 聖観音 集落管理

駐車場 あり

トイレ なし

湯川と今は無い応湖川が神指町の高瀬で合流し、広くなっていたことから広沢と呼ばれていました。後に平沢と呼ばれ、当時は、西二百餘の墓地に寺がありました。文禄元年（一五九二）に林郭という僧が建立し、本尊は釈迦如来像です。観音堂には、一尺二寸の聖観音立像が安置されています。



堂前に駐車。集落内道路狭し。寺は「国姓寺」ではなく「国性寺」、「平沢の月」は「広沢の月」が正しい。

## 十七番、中ノ明

「参るより 頼みを かけし  
観世音 沼木の沼に  
うかぶ水鳥」

「うかぶ水鳥」

真言宗 明吉山 密蔵院 観音寺

会津若松町北町中ノ明

本尊 聖観世音 集落管理

駐車場 あり

トイレ なし

三十三観音の中間にあたることから中ノ明が選定されました。天文中（一五三二〜一五四）宥業という僧が中興したとされています。北の屋敷集落西にあった「沼木の沼」に毎夜、光明があり、村人が沼を探ると木の中に一尺八寸の観世音像があったというので堂が建てられました。戊辰戦争で焼かれています。



堂前に駐車。

## 十八番、滝沢

「滝沢の 落ちて 流るる  
滝の水 かかる末ずえ  
弥勒なるらん」

「弥勒なるらん」

一箕山 瀧沢寺

会津若松市一箕町滝沢

本尊 聖世音 集落管理

駐車場 なし、路上駐車

トイレ なし

元は、会津若松市一箕町の一箕山にある八幡神社境内にありました。今でも、拝殿の西に堂が残っています。明治の廃仏毀釈により、一時は姫神社とも呼ばれていました。その後、現在地に建てられました。東側には、修験者が滝修行に使用した不動滝があります。



砂利道に駐車。山中・川底の道を徒歩10分。

